

■ 品種



シャインマスカット

■ ご紹介

大分県は日本の南西部に位置し、日本で1番早くシャインマスカットを出荷できる産地です。大きさだけでなく、味にもこだわり、丁寧な房づくりを行っています。見た目も味にもこだわった大分シャインマスカットをお試しください。

■ 特色

国で開発されたシャインマスカットは、食味はもちろん果皮が薄く皮ごと食べられること、輸送の際に脱粒しにくく、貯蔵性が高いことなどにより、国内外問わず、需要が高まっています。海外では特に東南アジアでの需要が増えており、中秋節、国慶説の贈答用として取引されています。

■ 梱包形態



気を付けている点：
輸送時に脱粒がないように詰め方を工夫している。また、衝撃に対する資材検討を行い、化粧箱については、バイヤーの要望を活かしたものを作成。



■ おすすめの食べ方

冷やしてそのままお召し上がりください。
また、パフェなどのトッピングにも最適です。

■ 食べごろ

出荷直後

■ 輸出可能時期

8月～1月

■ 輸出対象地域

東南アジア諸国、ドバイ

■ 生産・出荷行程ムービー

生産地の一つである大分県日田市の農園にトリップできる動画をQRコードからお楽しみいただけます。



■ 事業者名



大分県農業協同組合

■ 住所

〒870-0846
大分市花園三丁目2番10号

■ 連絡先

TEL : 0975-35-7614
E-MAIL : ryutuhanbai@kenja.jaoita.net
URL : <https://jaoita.or.jp/>

■ 輸出体制・施設整備

大分県農協では昨年度よりシャインマスカットの長期貯蔵に取り組み、春節までの販売を目指しています。ハウス加温栽培～貯蔵まで、長期出荷が可能です。検疫条件がある国には、冷凍食品を開発し、販路開拓に取り組んでいます。

■ 海外でのPR活動

コロナ禍の間、オンライン商談会に参加し、情報収集、発信につとめました。また、越境ECサイトを活用して冷凍シャインマスカットを掲載しています。



MADE IN JAPAN

■ 事業者（産地）の特徴・強み

大分県農協はJ-GAPの団体認証農場数が全国1位です。安全安心の証明がもたえられることが多くなった輸出規制についても迅速に対応できています（例：タイ王国）。

■ 生産量・輸出量情報

品種の作付面積	9 ha
生産量	158t
輸出可能数量（年間）	30t
輸出可能数量（1回あたり）	200kg
輸出可能最小ロット	10kg
輸出国別の輸出総量	香港5.1t タイ0.9t シンガポール0.1t 台湾0.05t ドバイ0.05t

■ 商標・認証

商標の有無	なし
GI取得の有無	なし
各種認証取得状況	なし